

(別紙5)

整理番号 2019P-136  
補助事業名 2019年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 日本自閉症協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

自閉症スペクトラム（以下ASD）の方はASDの障害特性のため、日常生活においてしばしば困難な出来事に直面することがある。例えば予定していない事に遭遇してしまった際に不安が高まり、場合によってはパニックになってしまうケースや、対人コミュニケーションにおいて困難さを示し、人との付き合いがうまくできないといったことがある。また、ASDの方は知的障害を伴う人もおり、発語や排便等の身辺自立の面で他の人にサポートしてもらう必要がある場合もある。このような多様な障害特性もあり、ASDの人やその家族は発達の段階において、周囲の無理解も相まって、地域社会とかわかることが困難となり、安心して生活を営むことができないことが多い。

本事業では、ASDの人とその家族が安心した地域生活を送れるように周囲への障害特性の理解促進や自らの障害特性の把握、関係者とのつながりの構築等を目的とする。

### (2) 実施内容

#### ①ASDのある人の地域生活を豊かにする学習相談会

(URL) <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/2019jka.pdf>

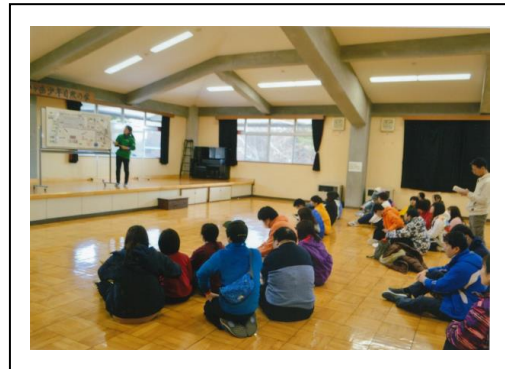


ASDの人と家族や支援者等を対象とした学習相談会を全国7か所で開催した。

この学習相談会は前半の講演会と後半の相談会（または座談会、茶話会）の二本立てで行う。前半の講演会については、実施する地域に委員会をたて、地域のニーズ等を検討し、そのニーズにあった講師の選定を行う。後半の相談会では参加者一人ひとりの実際の困りごとに対して、専門家の視点から生活に取り入れることのできる具体的なアドバイスを行う。また、座談会や茶話会では、親同士や親と支援者等の意見交換を行うとともに地域で協力しあえる関係性の構築を図る。

②ASDの子どもとその家族の相互理解と社会参加に向けた集団指導キャンプ

(URL) <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/2019jka.pdf>



ASDの子供とその家族を対象とした集団指導キャンプを実施した。この集団指導キャンプは宿泊型の集団生活を通して、参加者は医師や講師の専門家の指導の基療育プログラムに取り組み、ASDの人が障害特性のために苦手とする対人コミュニケーション等のスキルの向上を図る。また、親は日ごろ子どもにつきっきりとなっているケースが多いため、子どもが療育プログラムに参加している間に、講演会や茶話会等を通して他の参加者との交流を行い、ASDの人とその家族が地域で安心して生活を送るための協力者を地域に増やす。参加者の中には学生や社会人ボランティアにも協力してもらい、社会全体にASDの理解者を増やす活動を行う。

③発達障害の視点からのギャンブル依存の理解と適切な支援の構築

(URL) <http://www.autism.or.jp/report05/keirin/2019jka.pdf>

**発達障害の視点から見たギャンブル等の依存**

◆多様性の理解と適切な支援のために◆

**Q&A**

発達障害のある人がギャンブル依存の問題に悩んでいる場合、周囲の人に理解してもらい、適切な支援を受けることが重要です。本記事では、発達障害のある人がギャンブル依存の問題に悩んでいる場合、周囲の人に理解してもらい、適切な支援を受けることが重要です。本記事では、発達障害のある人がギャンブル依存の問題に悩んでいる場合、周囲の人に理解してもらい、適切な支援を受けることが重要です。

発達障害のある人がギャンブル依存の問題に悩んでいる場合、周囲の人に理解してもらい、適切な支援を受けることが重要です。本記事では、発達障害のある人がギャンブル依存の問題に悩んでいる場合、周囲の人に理解してもらい、適切な支援を受けることが重要です。

ギャンブル等の依存問題では現在グループセラピーを中心とした回復プログラムが主流となっているが、その中に発達障害の方がいた場合、状況によってはグループセラピーでストレスを増やしてしまうことがある。このような方々に対し「発達障害」の特性に配慮して、

## (別紙5)

その人に合った無理のない生活と生きがいの獲得が依存からの脱却することにつながると考え、そのための事例・解説・関連資料を掲載した小冊子を作成し、全国の相談機関や行政機関等に配布した。また、当協会HP上に掲載し広く周知を行っている。

### 2 予想される事業実施効果

#### ① ASDのある人の地域生活を豊かにする学習相談会

ASDの人やその家族、支援者のASDに関する理解を深めることで、現在の困りごとや将来に向けた不安に対して、対処していくことが可能となる。また、この学習相談会を通して、周囲と連携できる体制を作り、困ったことがあったときに地域で助け合っていくことができることが効果として挙げられる。

#### ② ASDの子どもとその家族の相互理解と社会参加に向けた集団指導キャンプ

ASDの人にとっては集団生活と療育プログラムより学んだ社会性を、今後の学校・地域生活や就労等につなげていくことができることが効果として挙げられる。キャンプに参加することで、地域から孤立してしまっていたASDの人と本人が周囲とつながることができ、休みの日に家族同士で外出しに行くようになったという報告も受けており、大きな効果といえると思う。

#### ③ 発達障害の視点からのギャンブル依存の理解と適切な支援の構築

今回発行した冊子は全国の依存相談の対応している機関や行政機関、会員等に広く配布を行った。従来の方法でうまくいかない方に、発達障害の多様な視点と本人理解に基づく支援の方法を提供することができ、今後今回の視点が社会全体に広がり、依存やこだわりで生活に支障をきたしている人の一助になると考える。

### 3 補助事業に係わる成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

発達障害の視点から見たギャンブル等の依存

～多様性の理解と適切な支援のために～小冊子・リーフレット

(URL) <http://www.autism-japan.org/izon/izon.htm>

#### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

特になし。

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人 日本自閉症協会

(イッパンシャダンハウジン ニホンジヘイショウキョウカイ)

住 所： 〒104-0044

東京都中央区明石町6-22 築地ニッコンビル6F

代 表 者： 会長 市川 宏伸 (イチカワ ヒロノブ)

担 当 部 署： 日本自閉症協会 事務局 (ニホンジヘイショウキョウカイジムキョク)

担 当 者 名： 陳野 功 (ジンノ コウ)

電 話 番 号： 03-3545-3380

F A X： 03-3545-3381

E - m a i l： [asj@autism.or.jp](mailto:asj@autism.or.jp)

U R L： <http://www.autism.or.jp/>